

アフリカ関係者、横浜各地で行事



6年生の子どもたちと交流するアフリカの報道関係者たち

横浜市神奈川区の市立 TICAD5の取材に、神奈川小倉田筆子校長、かわるアフリカ19カ国の児童数503人)には、報道関係者19人が、日本とを

TICAD5 きょう開幕

第5回アフリカ開発会議(TICAD5)が1日、横浜市西区のパンフィコ横浜で開幕する。5月31日は来日したアフリカ関係者が参加したイベントが市内各地で開かれた。【高木香奈、北川仁士】

の教育現場視察で来訪した。関係者は授業中の子どもの様子や、給食室や保健室などを見学。案内する教員に「給食のメニューはどうなっているのか」と熱心に質問していた。また低学年の子どもたちからスワヒリ語で「ジャンボ(さん)にちわい」とあいさつされると笑顔で応じた。

「協力して発展を」ベナン大使
ベナンのルフィン・ツマホン駐日特命全権大使が、横浜市議会本会議場で演説した。当初はTICAD5に参加するポニ・ヤイ大統領が演説する予定だったが、大雨で現地の飛行機出発が遅れ予定時刻に来日できなかった。

「協力して発展を」ベナン大使



大統領のメッセージを代読し、議員らから拍手で歓迎されるツマホン大使

ため、ツマホン大使がメッセージを代読した。議長に詰めかけた市議員に拍手で迎えられたツマホン大使は、日本語で「横浜が近代化を推進した時期に西洋へ門戸を開いたように、今度アフリカに対しても広

うと、子どもは「資源大国」「いろんな国がある」とそれぞれ特徴がある。報道関係者は「私が自国で先週話を聞いた女の子は毎日20歩歩いて通学している。みんなも真剣に勉強してほしい」と呼び掛けた。

ナイジェリアの日刊紙「THIS DAY」編集長が、アフリカ各地で事業を展開する女性起業家らが集まる「女性起業家ら集う」イベントを開催した。

女性起業家ら集う

市西区では「女性の活躍と経済成長」をテーマにしたシンポジウム(同市、国主催)が開かれた。アフリカ各地で事業を展開する女性起業家らが集まる「女性起業家ら集う」イベントを開催した。

林市長も参加 西区でシンポジウム

しいエチオピアで有機食品の加工会社を設立し、女性経営者に出資もしているミツラル・キフレユス・マチさん、女性への差別が残るルワンダで初の女性ドラムグループの代表を務めるオディレ・ガチレ・カテセさんらが登壇。林市長も参加した。

でもする。一度、退いた後に進む忍耐強さが必要」と話した。オディレさんは「グループを作ったことで女性が喜びと希望を抱くことができ、自信をつけた。起業は無から作り出すことであり、クリエイティブになる」と呼びかけた。



パネルディスカッションで意見交換する参加者

Ms.MITSLAL KIFLEYESUS-MATSCHIE
ミツラル・キフレユス・マチ氏

Ms.ODILE GAKIRE KATESE
オディレ・ガチレ・カテセ氏

Ms.GINETTE-URSULE YOMAN
ジネット・ウスレ・ヨマン氏

ミツラルさんは女性の起業について「失敗は誰だっていきなりと述べた。